



建築・設計から おつまみの世界へ

宍道町で、おつまみの卸をされている スナハラ商店 砂原誠さんです。

松江工業高校 建築科を卒業後、兵庫県宝塚市で建築・設計の仕事を経験した後、一年間のバイト生活を経て、お父様が経営されている現在の会社へ入社されました。

スナハラ商店に入る前の「人脈」が今の仕事に役立っていると話されました。

「人脈」と言う言葉が砂原さんらしいと思います。

いつもニコニコと人懐っこい顔で接して頂きます。

先月号で紹介しましたゴリラの鼻くそ（有）岡伊三郎商店 岡社長様 は砂原さんにご紹介を頂き、取材の時にきてきて最後までご協力いただきました。

出会った人を大切に、と

時代を先読みする

ことん面倒を見る人柄は、(株)プラチナ 内田さんと共通点を感じます。

以前、おつまみの主な卸先は県内のお酒屋さんでした。

酒屋免許が自由化され、消費者がスーパーやコンビニでお酒を購入するようになり、以前からお世話になっていたお酒屋さんが次々と廃業されるようになりました。

そこで砂原さんは今までと違うジャンルのお客様へもアプローチを始められます。

そのひとつがインターネット販売。

インターネット販売をはじめて十年が経つそうです。

「ホームページを持っていくところさえ少なかったのが、はじめにみようと思ったのがのびのびと伸びた。」

県内のお酒屋さんから、県外のお酒屋さん、飲食店、ホテル、一般企業のイベント、バス会社など営業範囲も、営業先のジャンルも年々変化されているようです。

細かい注文にも 気配り対応

各地で行われている町内会の体育祭や、慰安旅行で使うおつまみ「ひとり五百円の予算で五十個お願いします」など、細かいオーダーにもお得意の気配りで対応されています。

足下を大事に されています

「まちづくり」と言うと、松江のまちづくり、島根のまちづくりと目が行きますが、砂原さんは地元の商工会活動や、宍道町に開校した宍道高等学校の「ひとりづくり支援」に力を尽くされています。

左側の写真に写るお美しい女性は奥様です。

松江水燈路の時に松江歴史館へポップコーン屋さんを出店されていた愛に溢れる姿をカシヤット。

スナハラ商店

松江市宍道町白石七七一四三
電話：0852-66-2626
www.chinmi-sunahara.com



中学三年生 三名に街の人とひとをつなぐ かわら版「中学生が結ぶ絆 石橋町タイムス」を作ってもらいました。取材から編集まで中学生のが自ら行いました。

ご覧をいただき彼らを誉めて伸ばしてやってください。

石橋町タイムス 記者



お腹を出しながら、日向ぼっこが大好きな「空ちゃん」です。

「くう」と読みます。

色即是空の「空」からお父さんがつけてくれた名前です。このかわら版「空のポケット」も、人から何でも吸収させてもらい、人の役に立つ事なら何でも伝えていきたいと願ってつけた名前なんです。

ご紹介ください

伝えたい人&知りたい人を繋ぐ長屋かわら版「空のポケット」で、山陰地方で頑張っている「人」や「お店」、「イベント」を紹介させていただきます(無償)。

他薦でも、もちろん自薦でも構いません。

(株)文泉堂 仙田がキチンと取材させて頂いた上で掲載をしております。

空のポケットは手配りで毎月、地元へ配布しておりますが、県外のお客様やご支援頂いている方へも送っております。

笑顔がいっぱいのかかわら版にきたら幸いです。

笑顔があふれるまちづくりの一助になれば幸いです。



発行人 株式会社文泉堂
専務取締役 仙田利夫

〒六九〇〇八八一
島根県松江市石橋町五二一
連絡先：0852-24-3333
Mail：info@bunsendo.jp